



BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

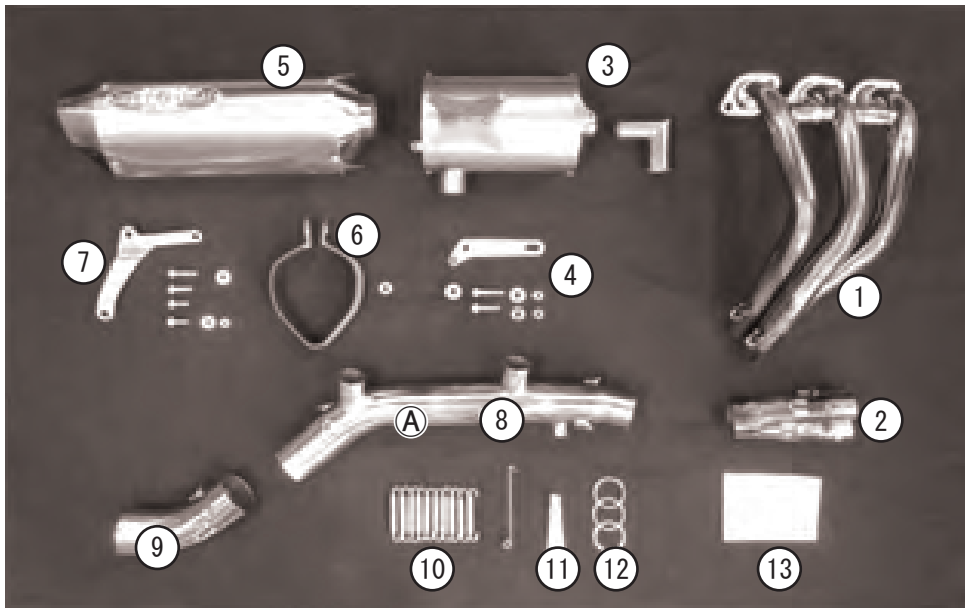
YAMAHA TRACER900

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



※⑧テールパイプ①部分のへこみはセンタースタンド干渉防止の為、意図的に加工されたものです。

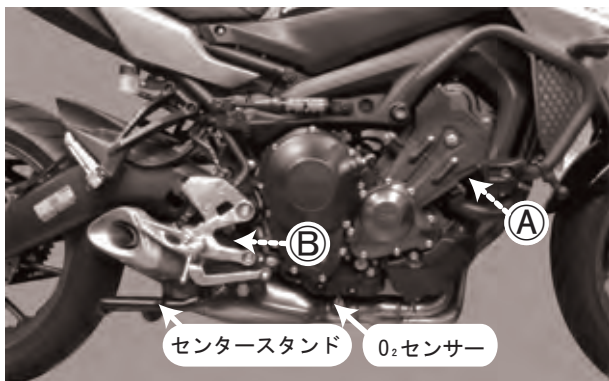
1	エキパイ	7	サイレンサーステーセット
2	集合部	8	テールパイプ①
3	サブサイレンサーセット	9	テールパイプ②
4	サブサイレンサー取付セット	10	スプリングセット
5	サイレンサー	11	耐熱シリコン
6	サイレンサーバンドセット	12	ガスケット
		13	保証書セット

I ノーマルマフラーの取り外し



注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。



HINT

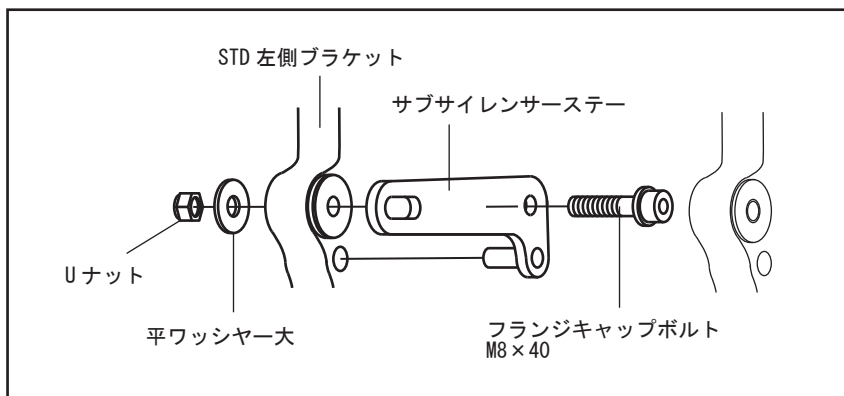
ノーマルマフラーは重量が重いので
ジャッキ等を使用することをおすすめします。

- センタースタンド、O₂センサーを取り外します。
- マフラー本体下部をジャッキ等で支え、
①ナット、②ボルト2本 (R, L) を外し
マフラー本体を取り外します。

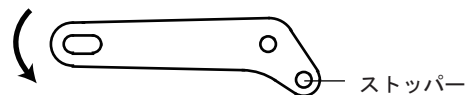
* ①ナットは BEET ナサートマフラー取り付け時使用します。

II ナサートマフラーの取り付け準備

【サブサイレンサーステー取り付け】

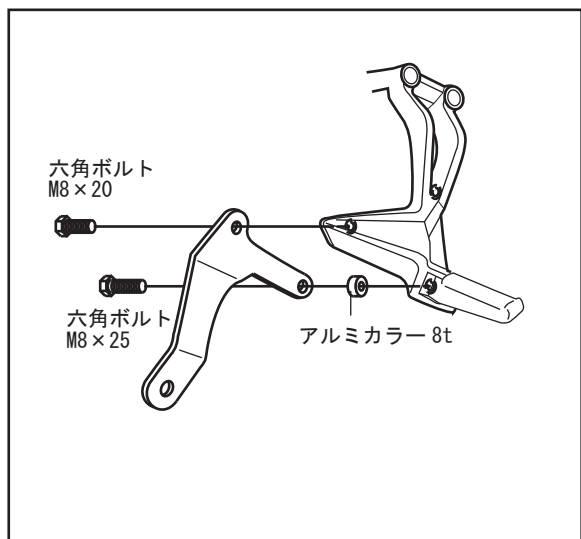


- STD 左側ブラケットに付属のサブサイレンサーステーを図のように取り付けます。
- 矢印方向の止まる所で固定し本締めしておきます。

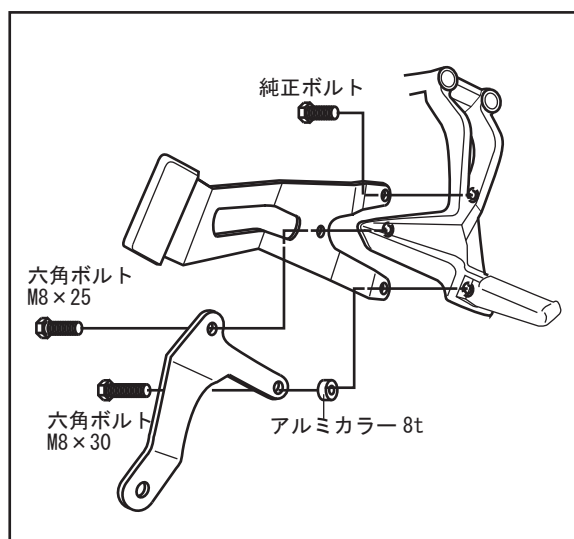


【サイレンサーステーの取り付け】 ※ 本締めしておきます。

パニアステーなし



純正パニアステーあり

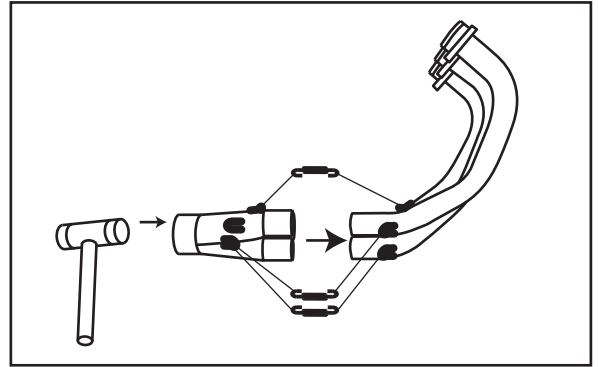


Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイの組み立て】

- エキパイに集合部、スプリングを取り付けます。
- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。

HINT 集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。



スプリングツール

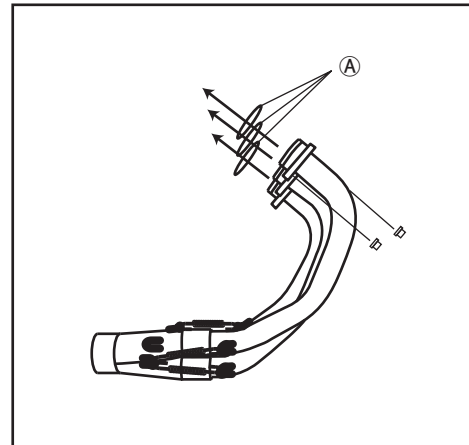


【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属①に交換します。

HINT 耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり取り付けやすくなります。

- ノーマルのナットを使用して取り付けます。
(仮止めの状態にしておきます。)

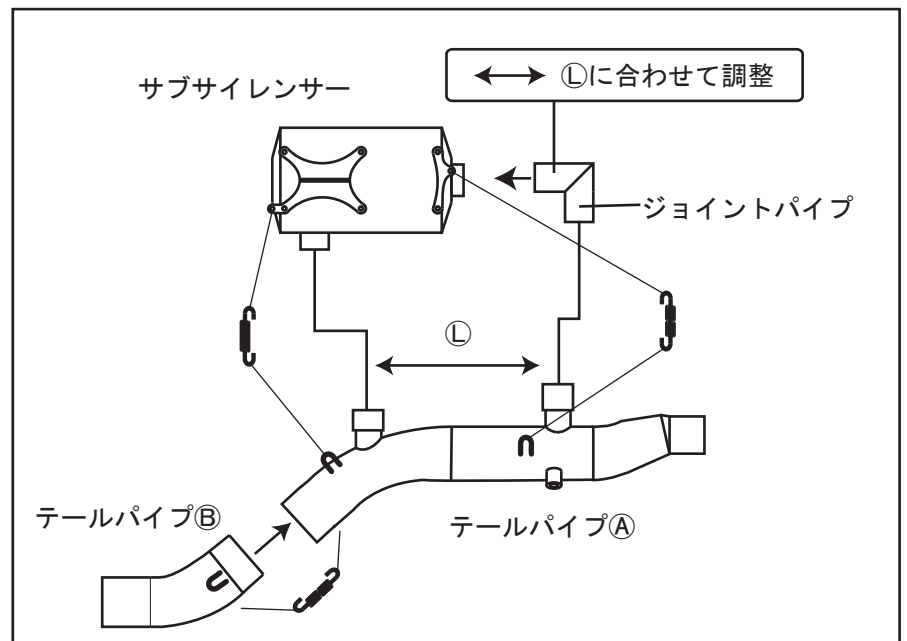


【テールパイプの組み立て】

- サブサイレンサーとジョイントパイプをテールパイプ①の差し込み部分の長さ②に調整し取り付けます。
- テールパイプ②を取り付けます。

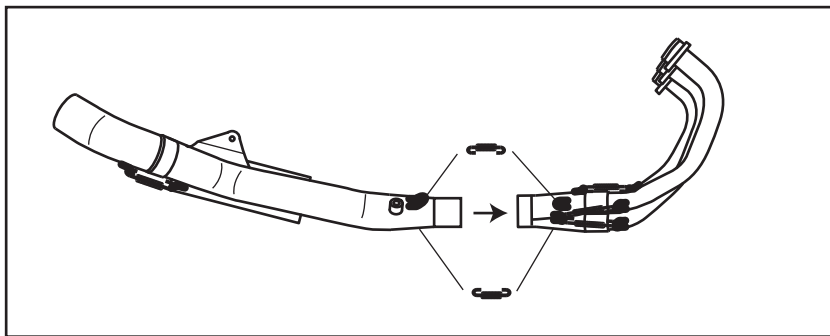


- テールパイプ裏側の向かい合うフックが直線上になるよう取り付けます。

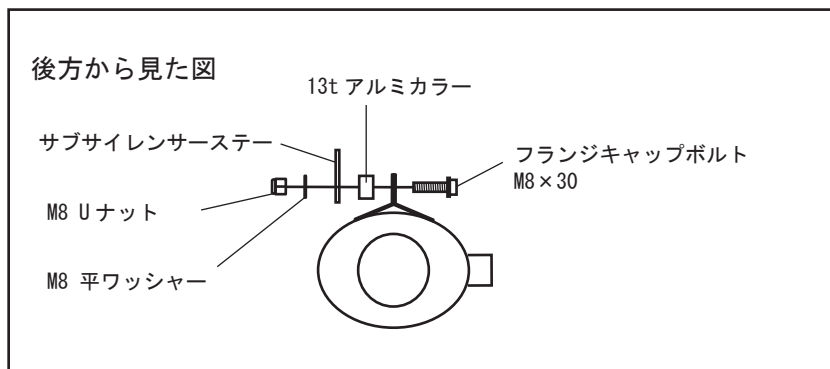


Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

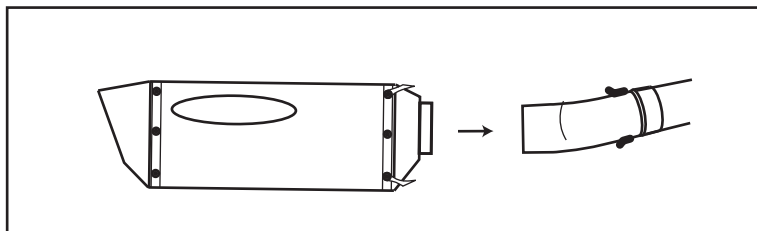
- エキパイにテールパイプ、スプリングを取り付けます。



- 図のようにサブサイレンサーを仮止めします。



- サイレンサーを取り付けます。

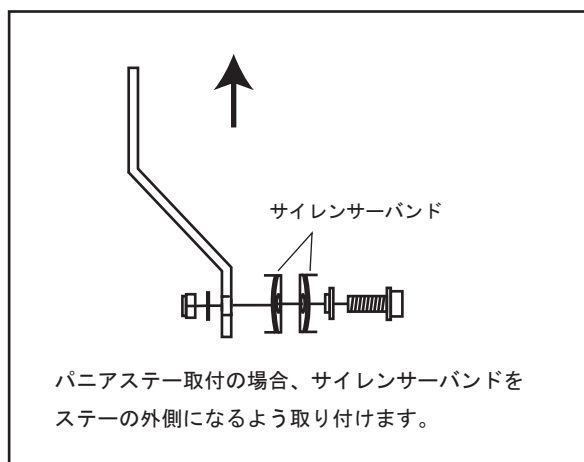
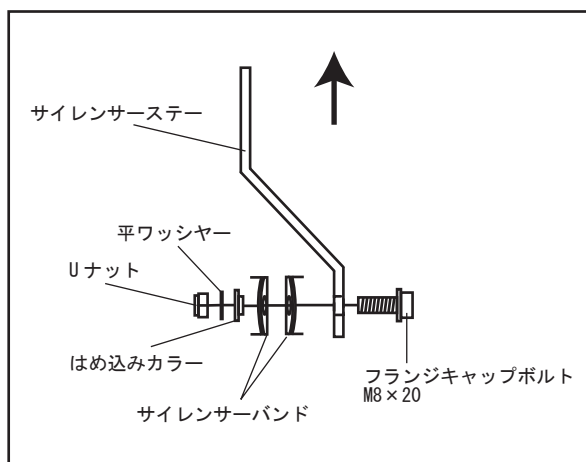


- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し、図のように取り付けます。

※ 仮締めめの状態にしておきます。

パニアステーなし（バンドがステーの内側）

純正パニアステーあり（バンドがステーの外側）



- サイレンサーにスプリングを取り付けます。

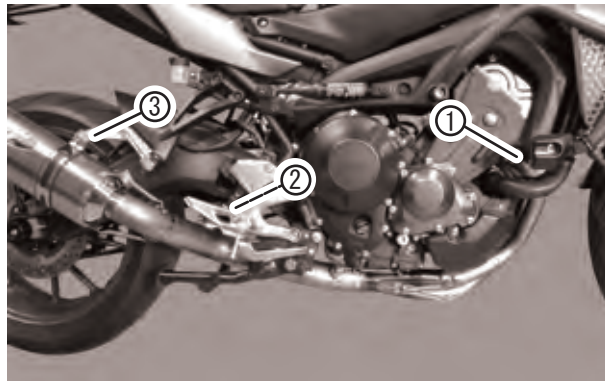
Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

- O₂センサーを取り付け元通りに結線します。
- センタースタンドを取り付けます。
- ※ 各部接触しないか確認します。
(テールパイプとセンタースタンド)
(サブサイレンサーとチェーン)

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- ① エキパイフランジナット
- ② サブサイレンサーステー
- ③ サイレンサーステーとバンド



- ⚠** ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

標準締め付けトルク

下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。

値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。

ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

⚠ 油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

⚠ エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。